

関越自動車214.5kp付近

調査日：平成16年11月6日（土）

班：地盤土構造物マネジメント班（構造物マネジメント班ほかとの合同調査のうち担当分）

分類別：被災状況、復旧状況

キーワード別：高速道路、盛土

調査結果

関越自動車214.5kp付近においては、盛土の変状により舗装が瓦解のように破壊した。

盛土は洪積の段丘砂礫上に構築されたものであり、盛土高さは7m程度である。基礎地盤はなだらかな傾斜を呈し、建設時点における近傍のボーリングデータによると、砂礫層は表面付近のごく浅い部分のみN値20程度であるが、その下はN値50以上の堅固なものである。



写真1 被災状況



写真2 復旧状況①



写真3 復旧状況②